

【公表】 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス両国教室			
○保護者評価実施期間	2025 年	11 月	1 日	～ 2025 年 11 月 30 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2 名
○従業者評価実施期間	2025 年	11 月	1 日	～ 2025 年 11 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年	12 月	18 日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様に伝わるようなその日の様子の捉え方の工夫と、詳細を分かりやすく伝達する職員の姿勢がある。 ・子どもを1番に大切にしようとする職員のきもちがあること。	・報告・連絡・相談の姿勢をもつことを大切にしている。また、朝の打ち合わせの際に、必要なお子様の共通理解や配慮する点など職員が共有すること。	・日頃からの子どもたちの受け止め、理解を十分にしていける工夫をしていく。そのための研修を充実させていく。
2	子どもが前日から楽しみにしていると評価があった。そのことから、子どもにとって教室は楽しい場所であらねばならないと再度職員が認識をする機会となった。	・子どもを理解していくためには、日頃からの深い洞察力が必要である。そのための研修を行っている。（こどもプラス本社主催）など ・他施設や幼稚園等職員が学ぶ機会を設ける。	・本教室だけでは子どもの人権を守るための支援や、より伸ばすための手立て等限りがあるため、他機関と連携して情報の共有や学びの機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	・本教室への入室希望者が多く、希望する方々を十分受け入れることができない。	・23区の中心部にあるため、十分な物件が見つからない。 ・要因としては回答が見つからない。	・教室が狭いが工夫して使ったり、整理整頓をしていく。 ・狭き門ではあるが、入室したお子さんには十分な療育の工夫を行っていく。
2	・狭い教室の環境が狭く限られた施設となっている。	・いつも見慣れてしまっている環境を客観的に見て、改善していく視点がかけていた。	・狭い教室の環境を子どものために工夫した空間の使用や物品の効率的な有効活用していくことが必要である。